

あいだ／生成

第四号

二〇一四年

あいだ哲学会

Between / Becoming, Vol.4, 2014
Society of In-between Philosophy

あいだ／生成

第四号

Between / Becoming, Vol.4, 2014

Society of In-between Philosophy

あいだ哲学会規約

- 1 本会は、あいだ哲学会と称し、事務局を京都大学大学院人間・環境学研究科篠原資明研究室に置く。
- 2 本会は、〈あいだ〉への問題意識にもとづく哲学的研究とその発展を目的とする。
- 3 本会の会員は、京都大学大学院人間・環境学研究科篠原資明研究室の関係者ならびに委員会の推薦を受けた者とする。
- 4 本会は、次の事業を行う。
 - (ア)学会誌『あいだ／生成』の刊行。
 - (イ)研究会、講演会等の開催。
 - (ウ)その他必要な事業。
- 5 本会の運営を遂行するために委員会を設置する。
- 6 委員会は、若干名の幹事を委嘱することができる。
- 7 規約の改正等の重要事項については、委員会の審議を経て決定する。

『あいだ／生成』投稿規定

- 1 投稿資格は、原則として会員に限る。
- 2 原稿の採否は、委員会の委嘱を受けた編集委員が審議の上決定する。

〔編集後記〕

『あいだ／生成』の第4号を、お届けする。毎年刊行できているのは、ありがたいというほかない。今号は、論文4つ、書評2つの構成である。第3号までは、毎号、若い会員の著作について書評が寄せられていたのだが、今回は、それが無い。残念といえば残念だが、そのかわり、拙著2冊について、若い会員から書評が寄せられたのは、さいわいであった。相変わらずの試行状態ではあるが、建設的なご批判やご意見をお寄せいただければと思う。

(篠原資明)

〔編集委員〕

蘆田 裕史
尼ヶ崎 彬
石田 美紀
石谷 治寛
岡田 温司
岡本 源太
喜多恵美子
篠原 資明
橋本 梓

〔編集幹事〕

武田 宙也

『あいだ／生成』 第4号

発行日：平成26年（2014年）3月21日

編集・発行：あいだ哲学会

京都大学大学院人間・環境学研究科篠原資明研究室

〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町 Tel：075-753-6540

印刷：七月堂

〒156-0043 東京都世田谷区松原 2-26-6-103

Tel：03-3325-5717 Fax：03-3325-5731

【論文】

- 建築の哲学
——カッコ嬢との対話—— 篠原資明 1
- 大正期文学における私秘的空間への〈眼差し〉の二相
——稲垣足穂と佐藤春夫、二人の〈家〉小説の比較を中心に—— 旦部辰徳 8
- ジャクソン・ポロックにおける無意識
——1933-44年のイメージの変遷をめぐって—— 笈菜奈子 28
- V. ジャンケレヴィッチのノスタルジー論
——「閉じたノスタルジー」と「開かれたノスタルジー」を中心として—— 島村幸忠 49
- 【書評】
- 篠原資明『空海と日本思想』 井上 聡 62
- 篠原資明『差異の王国——美学講義——』 吉松 覚 67

あいだ／生成

Between / Becoming

[Article]

- SHINOHARA Motoaki Philosophy of Architecture: Dialogue with Mademoiselle Parentheses
- TANBE Tatsunori Two Types of Description of Private Space in the Taisyo-era Literature: Through comparison study of “house novels” of Inagaqui Tarupho and Haruo Sato
- KAKEI Nanako Unconscious in Jackson Pollock: About the Changes of Images from 1933 to 1944
- SHIMAMURA Yukitada The Theory of Nostalgia by V. Jankélévitch: A Focus on “the Closed Nostalgia” and “the Open Nostalgia”

[Book Review]

- INOUE Satoshi SHINOHARA Motoaki, *Kūkai to Nihon Shisō*
- YOSHIMATSU Satoru SHINOHARA Motoaki, *Sai no Ōkoku*